

自然・文化・スポーツ・イベント…

国営備北丘陵公園は様々なレクリエーションニーズに応えます。

国営備北丘陵公園の概要

国営備北丘陵公園は、中国地方のほぼ中央に位置し、広島県最大のため池である国兼池と緑豊かな丘陵地を計画地とする全国で11番目、中国地方で唯一の国営公園です。

入園者数は年々増加し、開園以来の累計入園者数は約 629 万人(平成23年3月末現在)で、平成22年度の入園者数は約 46.3 万人を記録しています。

公園の整備の経緯

国営備北丘陵公園は、昭和57年度に事業着手して以降、順次開園区域を拡大し、現在229.5haを開園しています。

昭和57年4月1日	事業化
平成7年4月14日	中入口・ひばの里等供用開始(80ha)
11年6月26日	星の里(オートビレッジ)等供用開始(46.5ha)
14年7月1日	第二駐車場供用開始(3.2ha)
15年4月12日	つどいの里(グラウンドゴルフコース等)供用開始(49.1ha)
20年4月26日	北入口・みのりの里供用開始(43.3ha)
22年4月1日	みのりの里供用開始(7.4a)

公園の整備について

整備にあたっては、広大な樹林地や県内最大の国兼池等をはじめとする多くのため池、美しい草原が広がる七塚原牧場といった本公園の地域資源を活用しつつ、時代のニーズに応じた多様なレクリエーション活動の場を提供する観点から、園内を7つのエリア及び3つのセンターエリアに区分し施設整備を行っています。

平成24年春には、最後の未開園区域である「ふるさとの森」等のエリアが新たに開園する予定となっています。

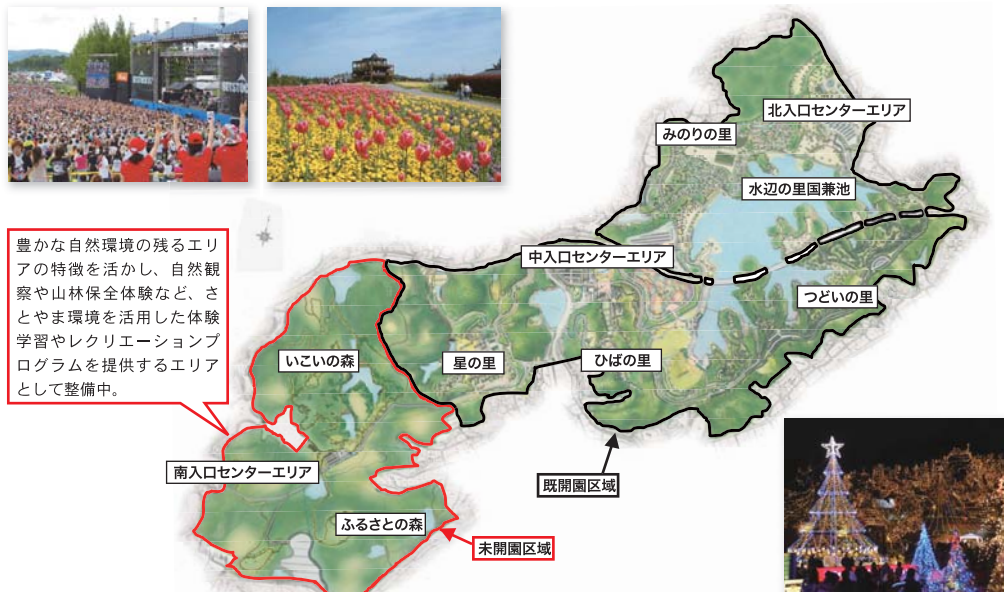
基本テーマ…「ふるさと・遊び」

【基本理念】

- ◆緑豊かな自然へのいざない
- ◆中国地方の歴史や文化とのふれあい
- ◆多様なレクリエーションへのしたしみ
- ◆周辺環境とのつながり

【基本方針】

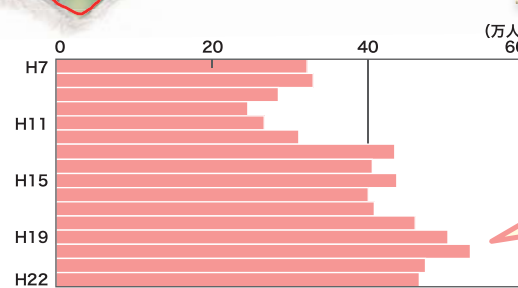
- ◆国兼池を中心とした湖畔景観や丘陵景観等の自然をいかした公園
- ◆中国地方の古い文化の伝承や、新しい文化をはぐくむことのできる公園
- ◆四季にわたる多様なレクリエーションに対応できる公園
- ◆中国地方の全域から利用できる公園
- ◆地域とのふれあいのできる公園



豊かな自然環境の残るエリアの特徴を活かし、自然観察や山林保全体験など、さどやま環境を活用した体験学習やレクリエーションプログラムを提供するエリアとして整備中。

計画面積
約340ha
(東京ドームの約73倍)

開園面積
約229.5ha
(東京ドームの約49倍)



累計入園者
約 **629** 万人
(平成23年3月末現在)